

関東学院大学 2024年度卒業時アンケート

〔概要〕

実施日・場所:2024年9月20日(金) 2024年度秋学期卒業式・学位授与式会場
2025年3月24日(月) 2024年度春学期卒業式・学位授与式会場

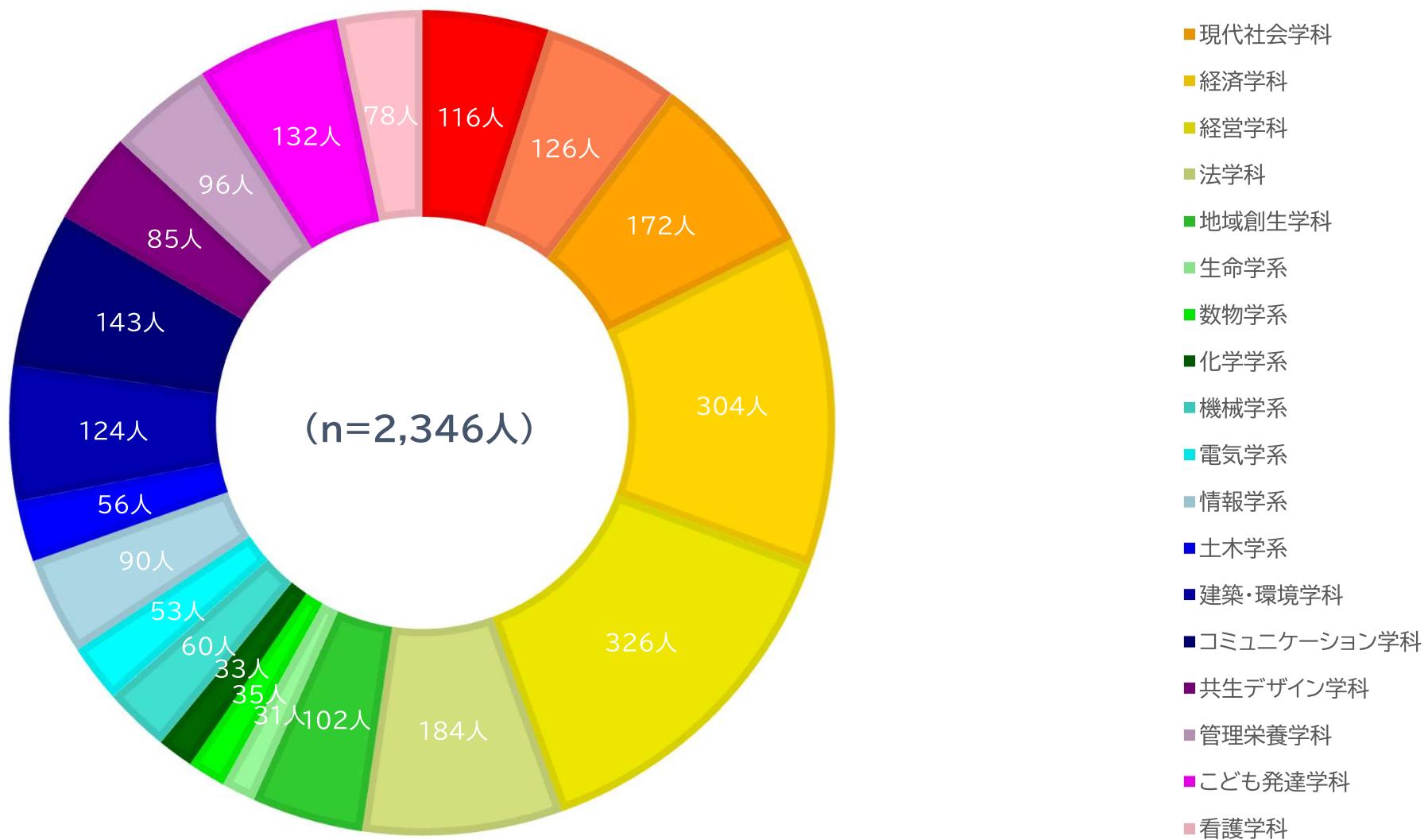
対象者:2024年度春学期・秋学期 学士課程卒業資格取得者

回収率:86.9% (回答者数 2,039名／卒業資格取得者数 2,346名)

[参考:当日出席対象者数 2,148名]

調査目的:学士課程教育の成果の把握及び確認。

2024年度学科・学系別卒業資格取得者数



学科・学系別 卒業資格取得に対するアンケート回答者の割合

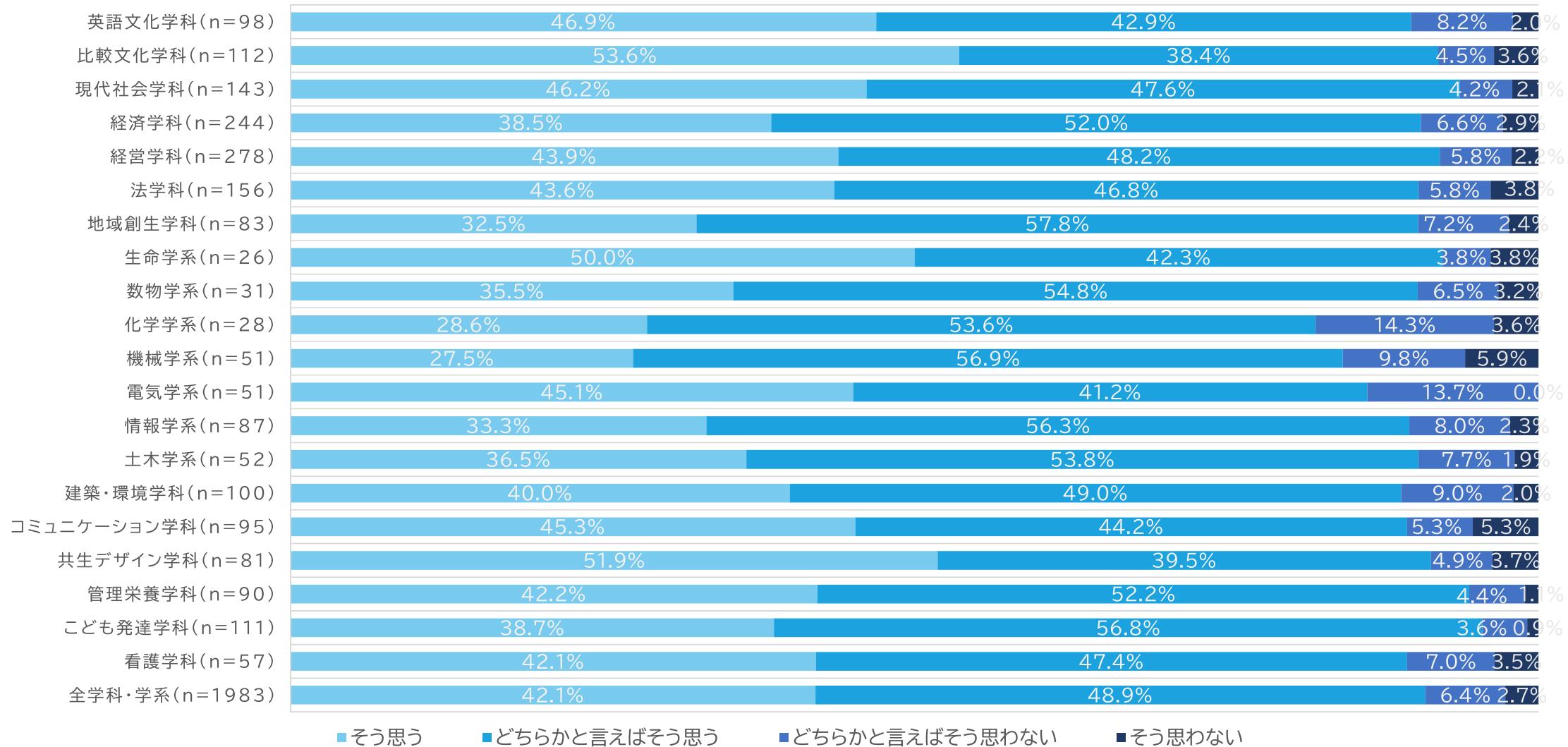
学科・学系	卒業資格取得者数(A)	アンケート回答者数(B)	卒業資格取得者に対する回答者の割合(A/B)	学科・学系	卒業資格取得者数(A)	アンケート回答者数(B)	卒業資格取得者に対する回答者の割合(A/B)	
英語文化学科	116人	101人	87.1%	電気学系	53人	52人	98.1%	
比較文化学科	126人	117人	92.9%	情報学系	90人	87人	96.7%	
現代社会学科	172人	145人	84.3%	土木学系	56人	52人	92.9%	
経済学科	304人	252人	82.9%	建築・環境学科	124人	101人	81.5%	
経営学科	326人	289人	88.7%	コミュニケーション学科	143人	99人	69.2%	
法学科	184人	165人	89.7%	共生デザイン学科	85人	83人	97.6%	
地域創生学科	102人	84人	82.4%	管理栄養学科	96人	91人	94.8%	
生命学系	31人	26人	83.9%	こども発達学科	132人	116人	87.9%	
数物学系	35人	32人	91.4%	看護学科	78人	59人	75.6%	
化学学系	33人	28人	84.8%	全学科・学系	2,346人	2,039人 ^(※)	86.9%	
機械学系	60人	51人	85.0%	^(※) 卒業学科・学系不明者9名含む				

アンケート項目一覧

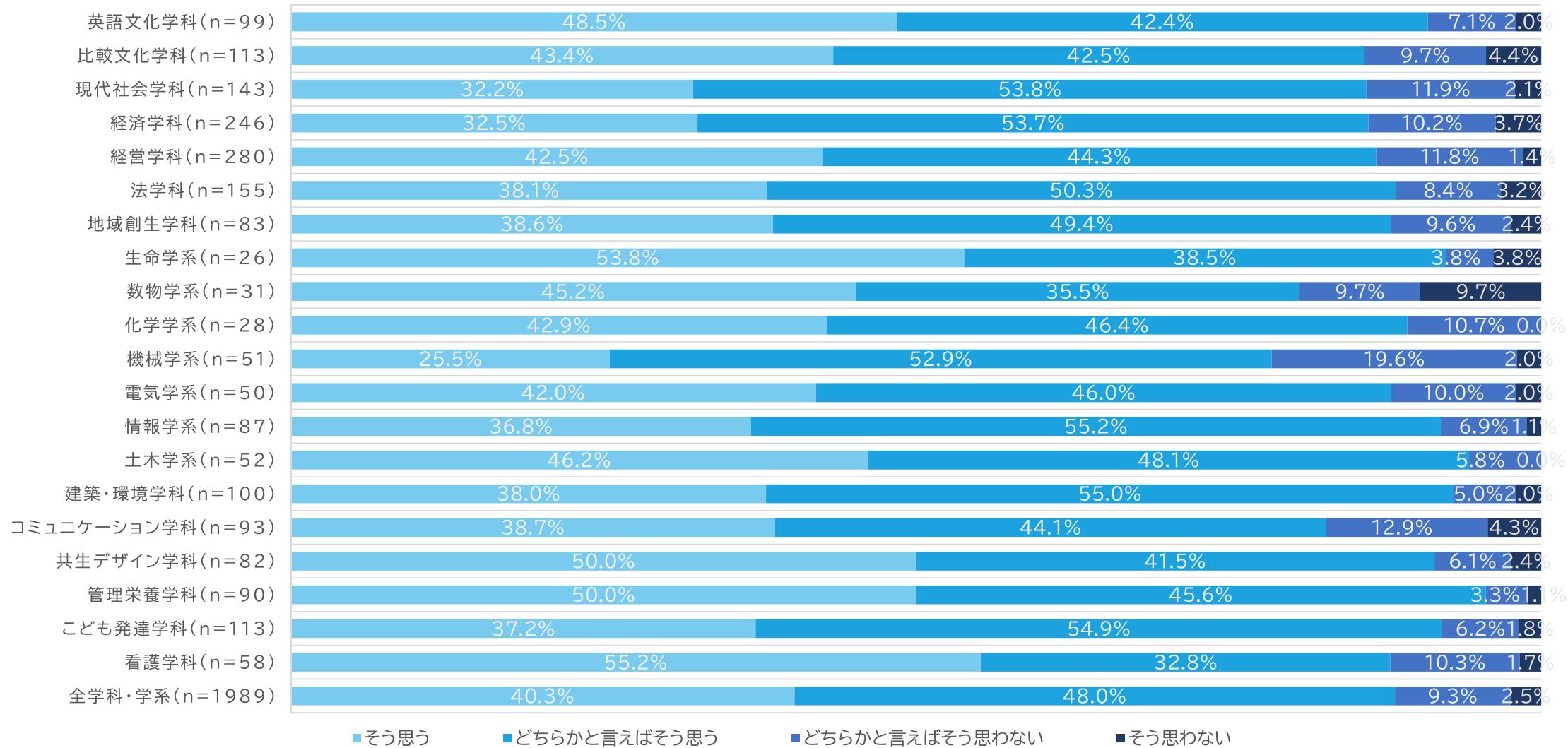
1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身に着けている。
2. 所属する学部・学科の学問領域固有の知識と方法論を習得している。
3. 本学が立地する「神奈川」をはじめとする地域の歴史・文化・風土等の特性を理解している。
4. 発見した問題を、解決するための手法を適切に選択できる。
5. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。
6. 他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。
7. 倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。
8. 他者の意見に耳を傾けるとともに自らの意見を適切な表現手段を用いて発信することができる。
9. 生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。
10. 社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を有している。
11. 豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。
12. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身に附けている。

※各項目において、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」「どちらかと言えばそう思わない」「そう思わない」の中から該当するものを一つ回答。

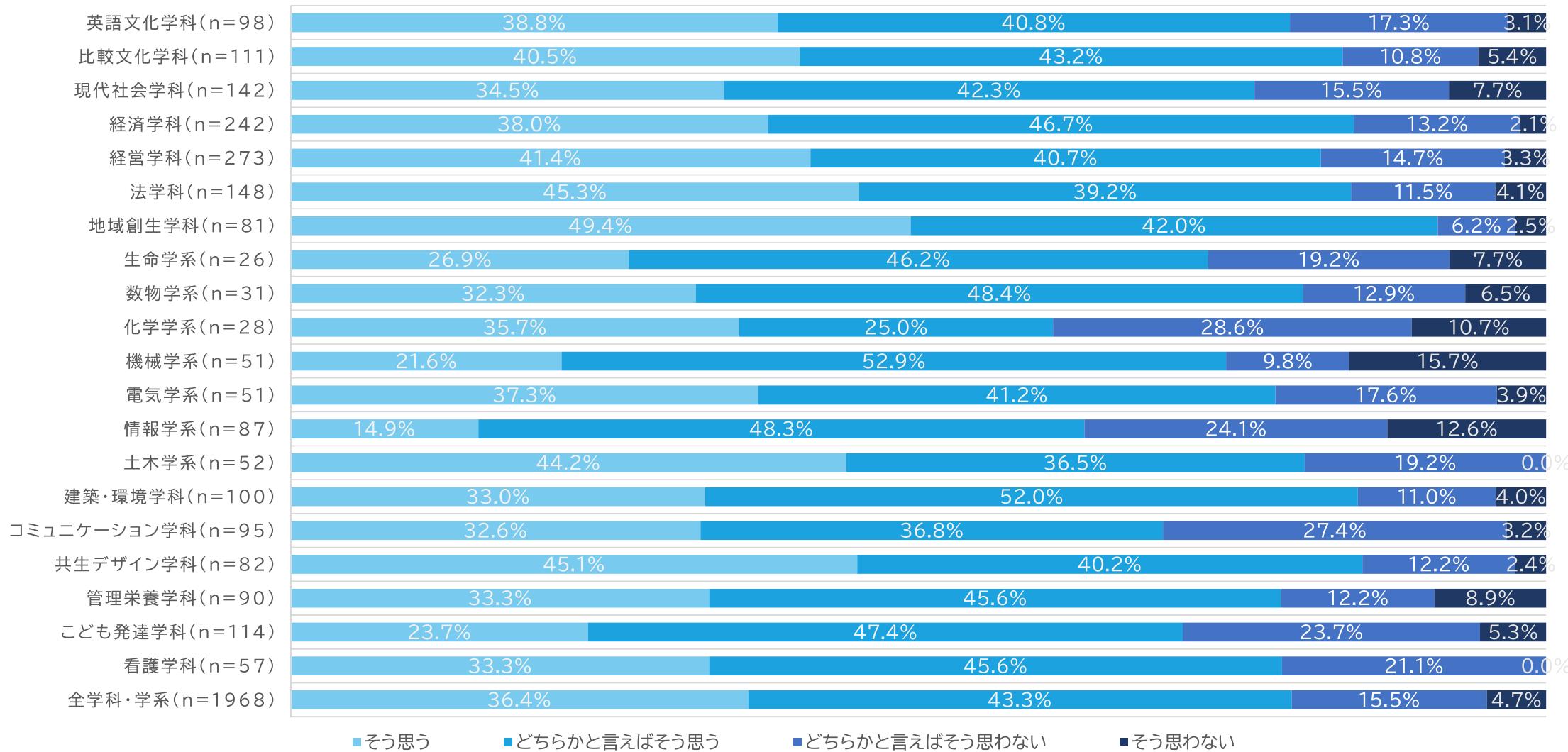
1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身に着けている。



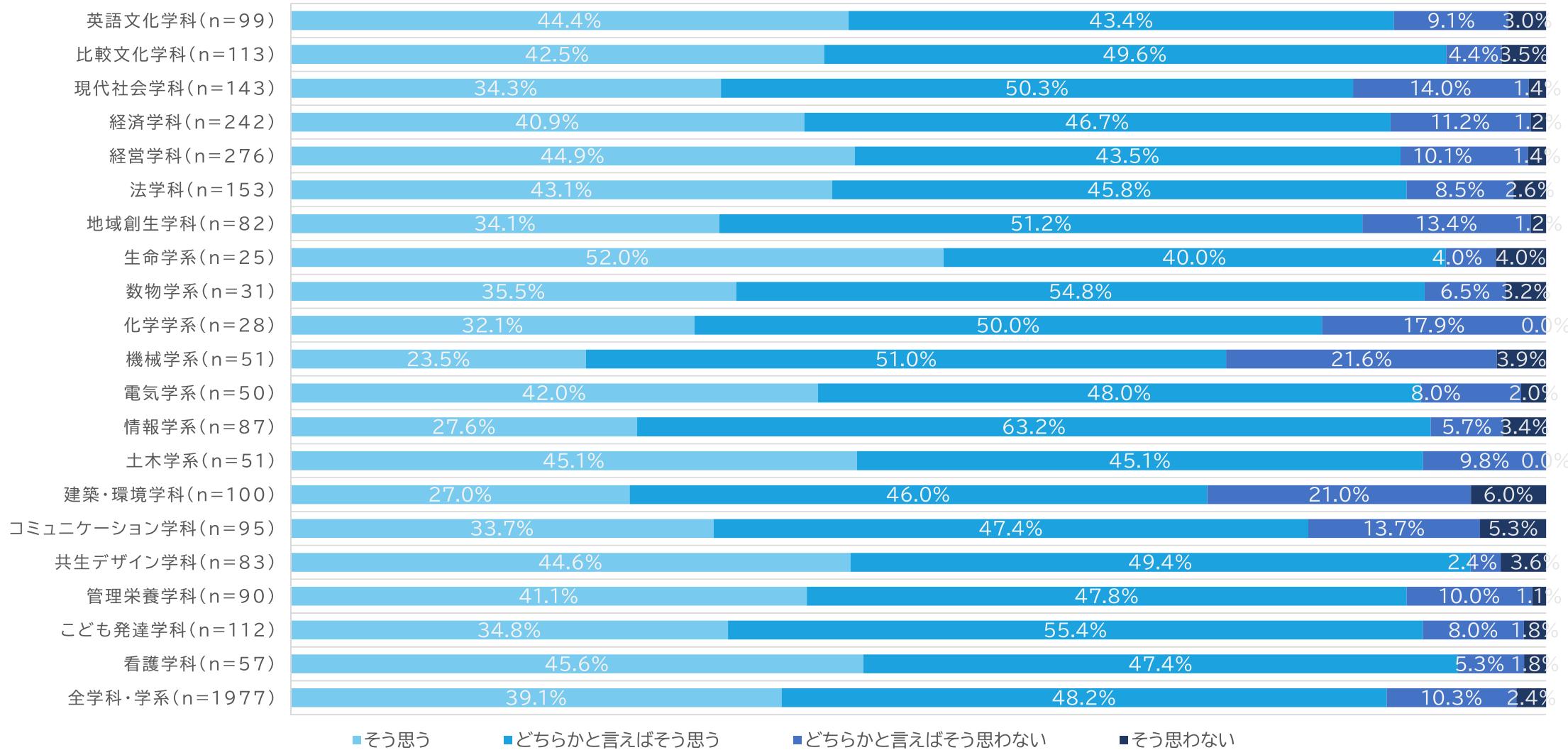
2. 所属する学部・学科の学問領域固有の知識と方法論を習得している。



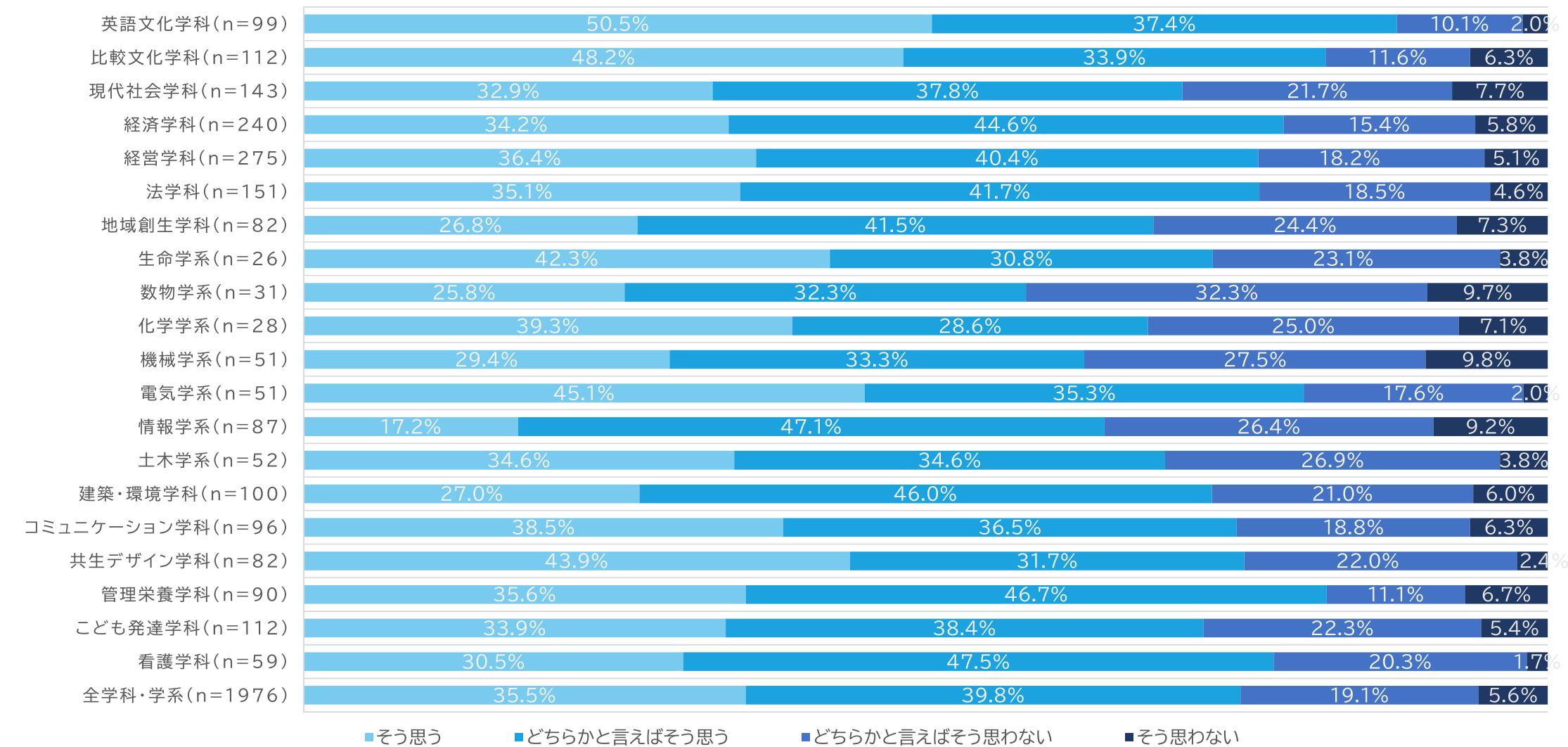
3. 本学が立地する「神奈川」をはじめとする地域の歴史・文化・風土等の特性を理解している。



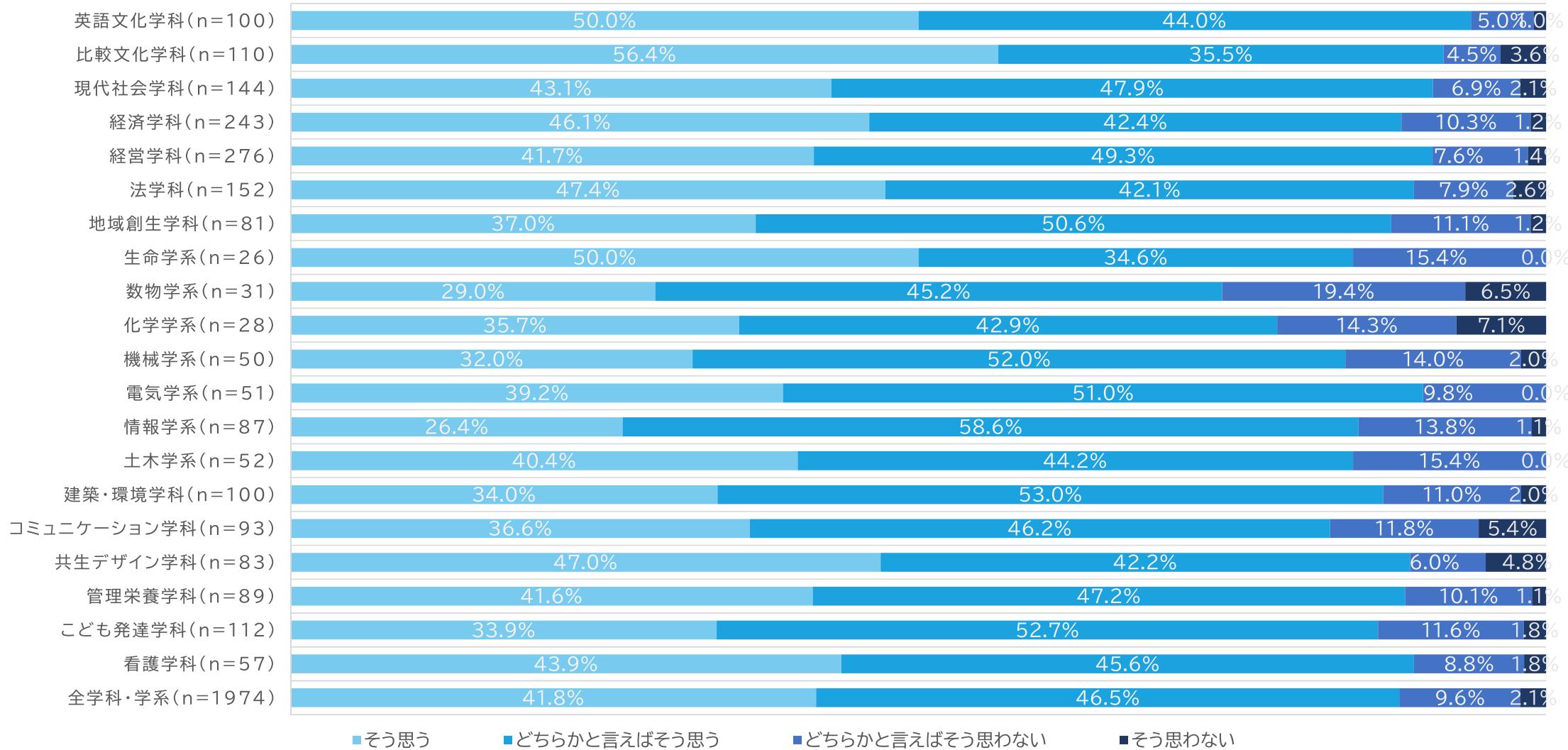
4. 発見した問題を、解決するための手法を適切に選択できる。



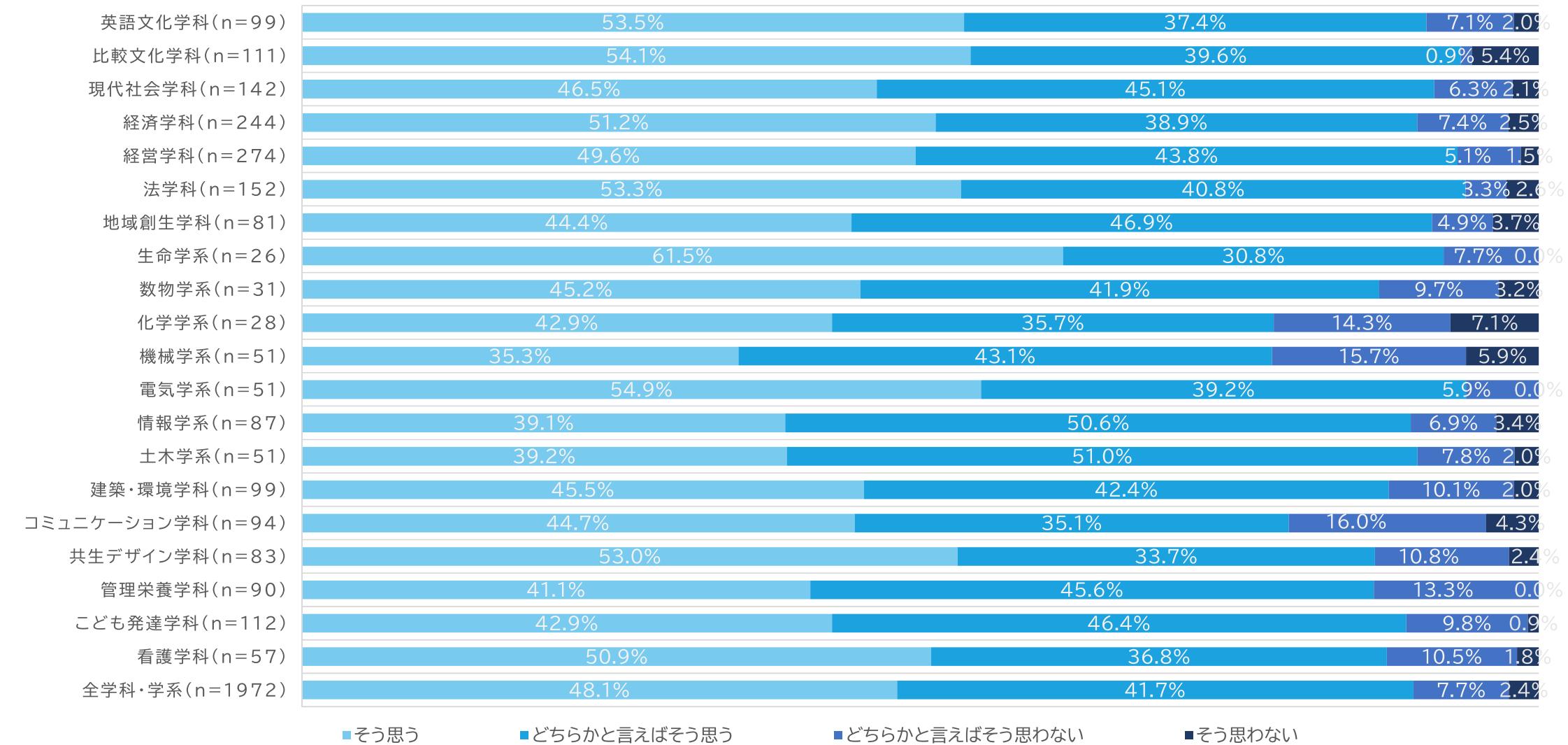
5. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。



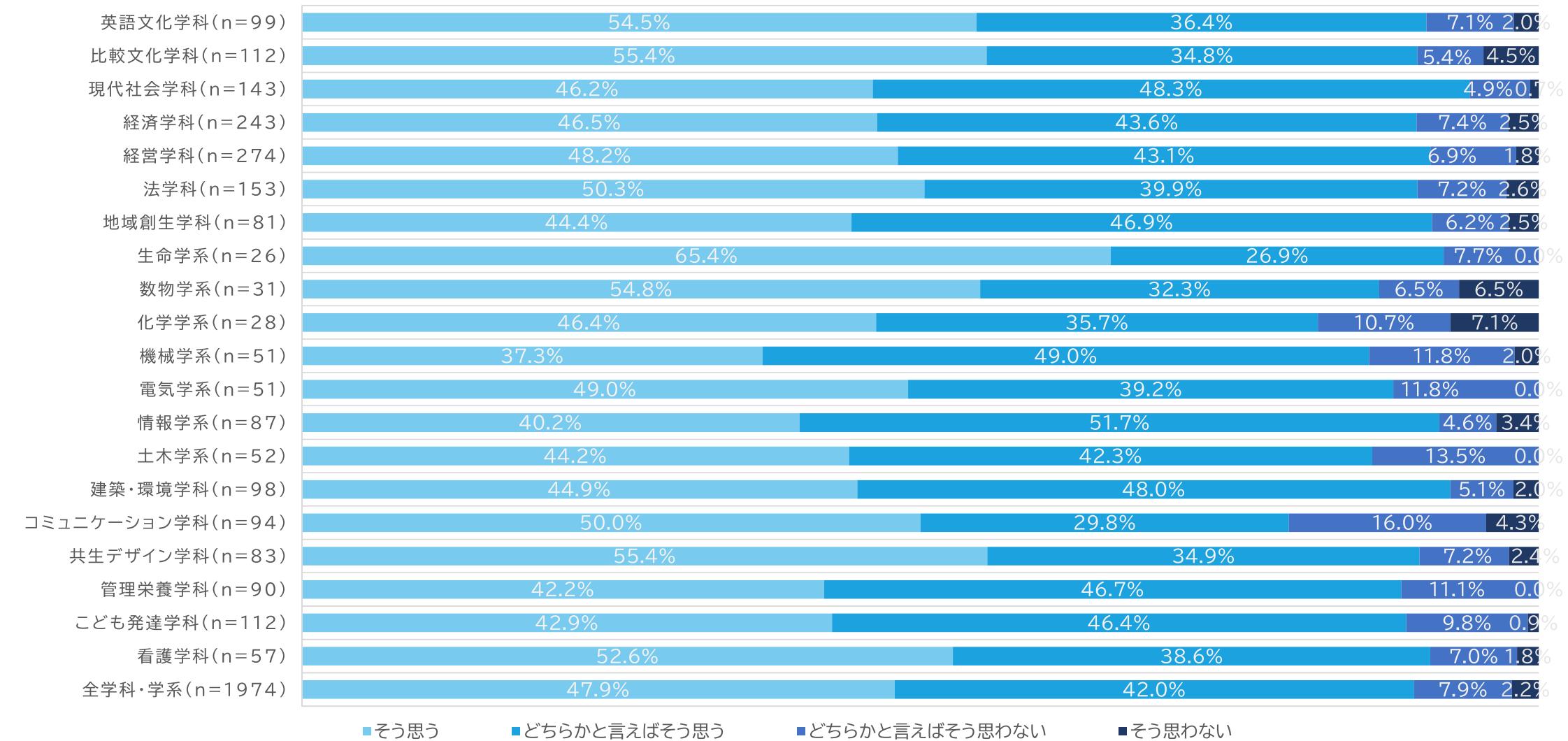
6. 他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。



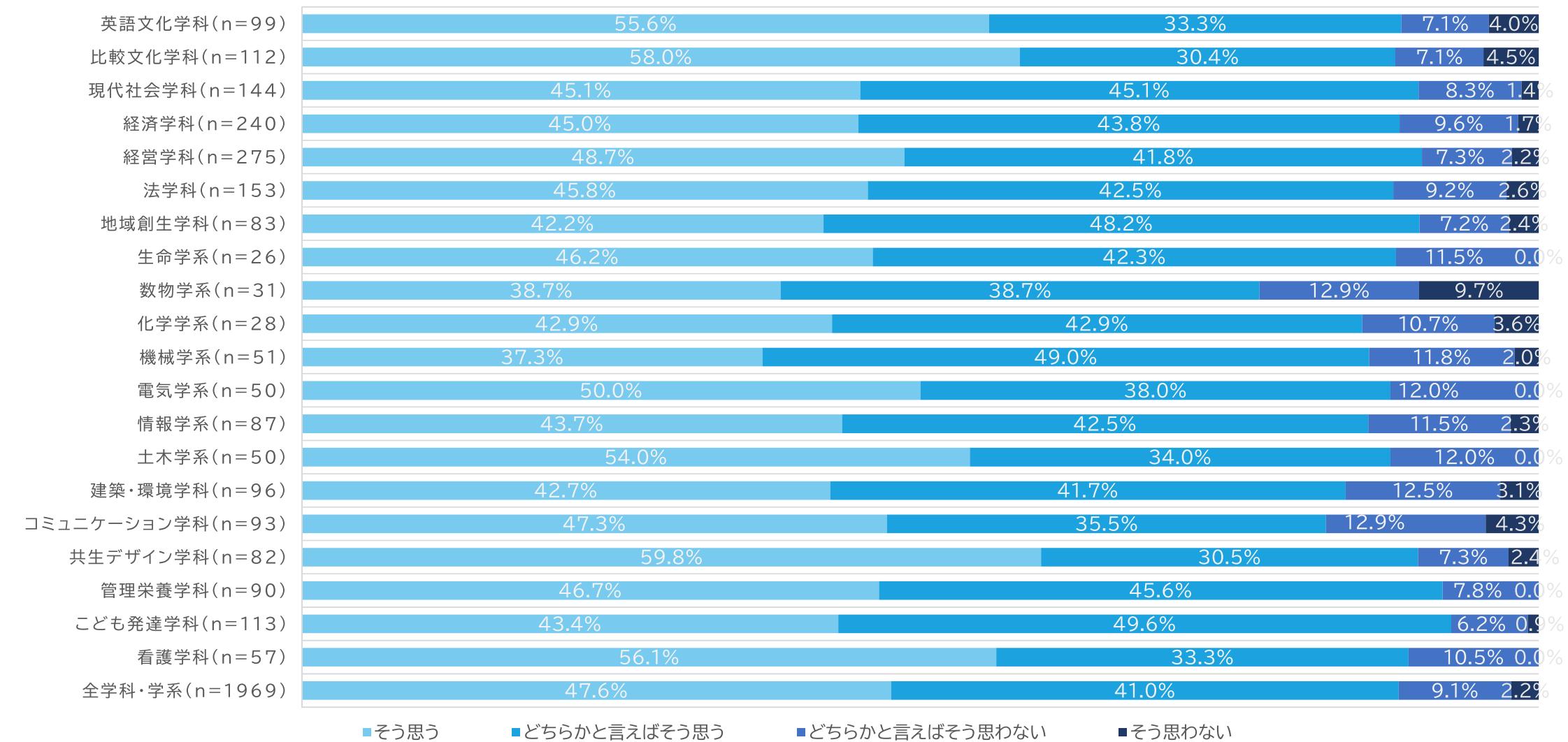
7. 倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。



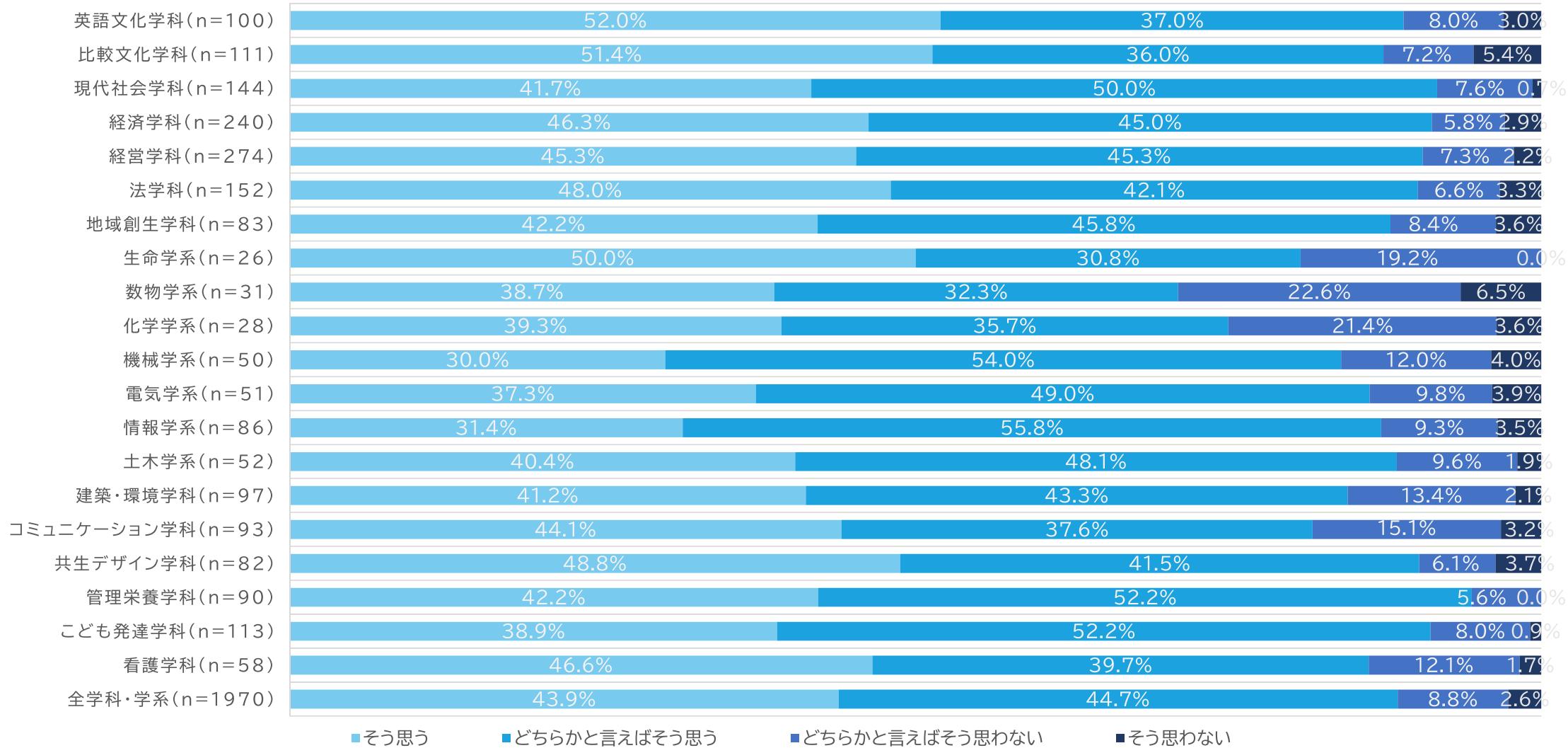
8. 他者の意見に耳を傾けるとともに自らの意見を適切な表現手段を用いて発信することができる。



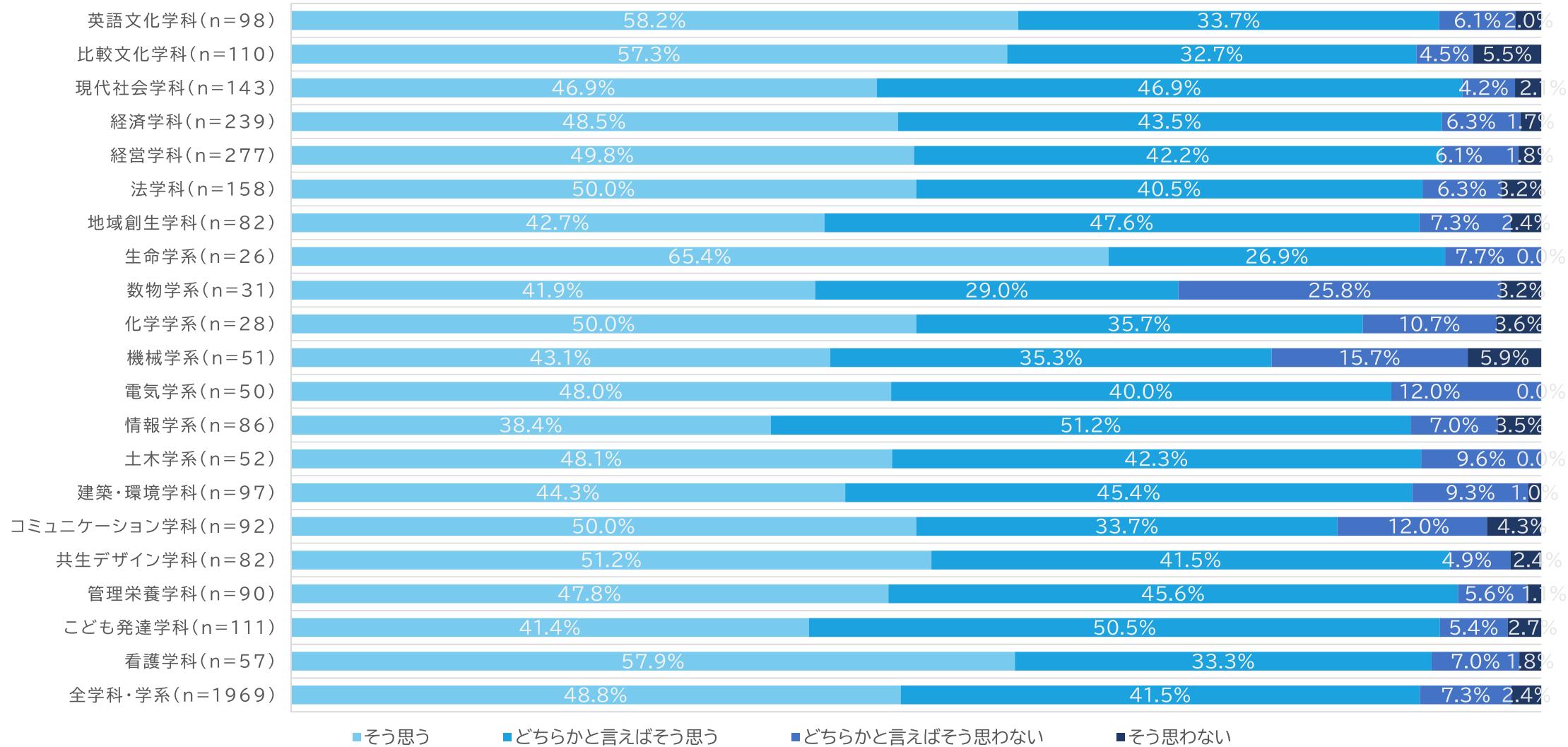
9. 生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。



10. 社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を有している。



11. 豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。



12. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。

